

令和5年度 日本学生支援機構 大学院第一種奨学金返還免除 手続要項

1. 制度

大学院第一種奨学生で、在学中、特に優れた業績を上げた者に対し、貸与された奨学金の全額又は一部の返還が免除される制度です。返還免除の認定は、本学内での学内選考委員会を経て、日本学生支援機構での審議により行われます。

2. 提出書類（※【】内は提出方法を示しています）

様式は、Googleドライブ（学内者専用）からダウンロードしてください。



<保存場所>Googleドライブ>共有アイテム>[FS]全学共有
>23_学生支援関係>03_第一種奨学金返還免除

(1) 提出書類確認表 【紙】

注) 用意ができた提出書類等にすべて丸をつけて提出してください。

(2) 学業成績証明書 【紙】

注1) 教育支援課の証明書発行機により印刷を行ってください。

注2) 免P生の場合、大学院学校教育研究科の成績のみ提出。

(3) 令和5年度業績優秀者返還免除申請書（様式1） 【電子データ】

注) 指導教員と相談のうえ必要事項を記入してください。

別紙「上越教育大学第一種奨学金返還免除候補者選考基準」で自身の該当業績を確認した後作成してください。

(4) 特に優れた業績を証明する資料 【電子データ】

所属する専攻分野に関する業績が対象です。

別紙「上越教育大学第一種奨学金返還免除候補者選考基準」に該当しない実績は受け付けできません。実績該当の是非及び提出する業績を証明する資料に誤りがないか、提出前に学生支援課奨学支援担当にご確認ください。

業績を証明する資料がない場合は、各自で証明書の雛型を作成し、証明を依頼してください。（日時・会場・内容等、可能な限り具体的なものにする）

◎特に優れた業績を証明する資料の一例

業 績	特に優れた業績を証明する資料（例）
①修士論文	論文要旨などの写し（修士課程のみ）
②学修成果報告書	学修成果報告書及び添付する資料（専門職学位課程のみ）
③学術誌への掲載	掲載された学術誌の表紙、掲載箇所及び掲載日時の分かる箇所の写し （※査読付き原著論文の場合はそれを証明できる箇所も添付）
④学会発表	学会のパンフレットの表紙及び掲載箇所の写し （※学会の日時・場所・自分の名前が含まれている箇所を添付）
⑤著書等	著書の表紙及び自分の名前が含まれている箇所の写し （※専攻分野に関連した著書等のみが対象。）
⑥授業科目の成績	教育支援課の証明書発行機により学業成績証明書を発行
⑦研究又は教育に係る補助業務	【学内】⇒補助業務証明（依頼）書を学生支援課へ提出 【学外】⇒日時・場所・実施内容がわかるものを添付
⑧芸術の発表会における成績	表彰状など、成績が分かる書類の写し （※発表会の正式名称や日時が含まれている箇所も添付）
⑨スポーツの競技会における成績	表彰状など、成績が分かる書類の写し （※発表会の正式名称や日時が含まれている箇所も添付）
⑩ボランティア等の社会貢献活動	ボランティアに参加したことが分かる書類の写し （※専攻分野に関連した活動のみが対象。）

※⑦研究または教育に係る補助業務【学内】は学生支援課より担当課へ証明を依頼します。

3. 電子データの提出方法

①ファイルの拡張子

提出する資料の拡張子は以下のものとしてください。

- ・ 令和5年度業績優秀者返還免除申請書（様式1）【xlsx】
- ・ 特に優れた業績を証明する資料【※1】
- ・ 研究または教育に係る補助業務【docx】・・・学内での補助業務がある場合

※1・・・pdf,docx,xlsx,pptx,ods,odt,gif,jpg,png

②ファイルのタイトル

- ・ 令和5年度業績優秀者返還免除申請書（様式1）・・・「氏名+申請書」
- ・ 特に優れた業績を証明する資料・・・「氏名+資料〇-〇」



③ファイルの提出方法

下記メールアドレスへ添付ファイルを付けて提出してください。

宛先「syogaku@juen.ac.jp」

件名「大学院第一種奨学金返還免除申請書類（学籍番号・氏名）」

4. 申請受付期限

令和6年1月19日（金）17時15分まで（厳守）

※窓口での提出（提出書類確認票及び学業成績証明書）及び電子データの提出の両方の受付期限です。

5. 注意事項

- ① 受付期限までに申請できない者は、事前に書面により学生支援課に届け出てください。事前に届け出がなく提出期限を過ぎた申請は、一切受理しません。
- ② 申請手続きは、必ず申請者本人が行ってください。代理人申請は、受理できません。

6. 選考結果

本学学生支援課又は日本学生支援機構より選考結果が郵送で通知されます。

選考結果の電話でのお問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。

- ①学内選考委員会：令和6年3月下旬（学内選考での不採用者のみ通知します）
- ②日本学生支援機構：令和6年7月下旬（予定）（最終合否）